

また米軍ヘリ部品が落下

生徒からわずか30cm

沖縄
浦添市

普天間基地は**即**運用停止を

沖縄で米軍ヘリの部品がまた学校に落下しました。場所は浦添市・浦西中学校のテニスコートで、生徒の足元からわずか30センチ先。命を脅かす事故です。米軍普天間基地の軍用機が同学校上空を日常的に飛行する中で起きました。学校では野外での活動を制限し、米軍機が接近したら即避難する事態が続いています。

沖縄では、一昨年12月にも保育園や小学校に米軍ヘリ部品が落下。父母らが保育園や学校上空の飛行中止を求めているのに、米軍機は今も毎日上空を飛んでいます。普天間基地と子どもたちが共存できないことは明白です。県議会は、全会一致で普天間基地の即時運用停止、閉鎖・撤去を求める決議を採択しました。政府は決議に応え、ただちにその実行を求めるべきです。



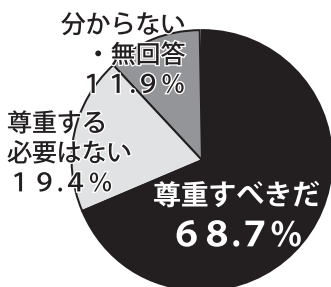
マヨネーズ状

完成できない基地に2.5兆円

辺野古新基地建設は中止を！

ところが政府はその努力は全くせず、「普天間基地の危険性除去のため」などと言って、名護市辺野古の海を埋め立て、新基地建設をゴリ押ししています。しかし、予定地にマヨネーズ状の軟弱地盤が広がり大規模な地盤改良工事が必要で、完成の見通しすら明らかにできていません。県の試算では、完成まで最低13年かかります。その間、子どもたちの命を危険にさらし続けるつもりでしょうか。また新基地ができて、そこを拠点としてヘリやオスプレイが県内中で訓練し、危険を与え続けます。何の解決にもなりません。県民が求めているのは、新基地建設中止、普天間基地の即時運用停止、閉鎖・撤去です。この民意に従うべきです。

「県民投票の結果を政府は」



「共同通信」世論調査
(全国、3/11付)

新基地建設反対の署名にご協力ください

日本平和委員会

2019年6月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277